



KCJS ニュースレター



2019年 秋学期 第17号



<https://www.kcjs.jp/>

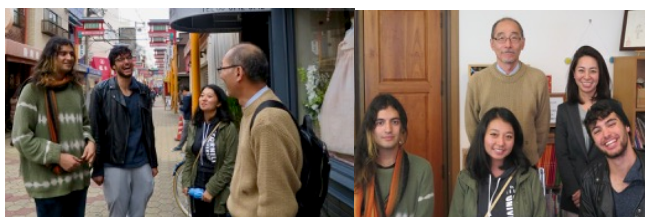
日本語の授業

ジョンパウロ・クルグパイヴァ
(ハーバード大学)



日本に着いたら、見たことのない所を懐かしく感じるなんてあり得ないという以前の発想ががらりと変わった。そんな変化を感じさせてくれたのは今の日本語の授業だ。中田先生の自己紹介の時に、「初めまして」の代わりに「ただいま」と言いたくなった。四年生の留学生として特に忙しく、やらなければならないことを考えてばかりいることが多いが、日本語の教室に入ると「そこにいたい」だけではなく、「そこにしかいたくない」と言った方が適当な気持ちになる。日本語という最も美しい言語を、そんな環境で勉強できたことに感謝しきれない。

When I came to Japan, thanks to this Japanese class, I found out it was possible to feel nostalgic about a place I had never visited. When our professor, Nakata Sensei introduced herself, I felt like I should say not "Nice to meet you," but "I'm back!" instead. As a 4th year international student I often get caught up in all the things I need and want to do, but when I enter Japanese class not only am I only there, but that is the only place in which I want to be. I can never express enough my gratitude for the chance of learning this beautiful language in such a warm and welcoming environment.



大阪・鶴橋で多文化共生の地域づくり・子どもの教育格差是正に取り組んでいる NPO 法人クロススペースの宋さんにお話を伺いました。

倉敷の経験

ワイリ・クリシュナワーム
(ブランダイス大学)



KCJS の学生全員と岡山県の倉敷市に行き、ホームステイをさせて頂くことになりました。私は酒屋をやっていたとても優しい家族に泊まらせていただくことができ、本当にラッキーでした。ホストマザーと倉敷の街並みを巡ったり、名物を味わったり、色々な博物館や美術館に行ったりできました。翌日、その家の弟と妹と田舎の山に登り、安倍晴明や蘆屋道満の縁の場所を訪ね、付近の神社に行き、騎馬や御御輿を見て祭りに参加できました。ホストファミリーに大歓迎され、珍しい地元の経験ができたことに、感謝しきれません。

Recently, the KCJS squad and I traveled to the city of Kurashiki in Okayama prefecture for a weekend long homestay with local families. The experiences I had over the weekend with my host family included visiting sites associated with legendary figures Abe no Seimei and Ashiya Douman, seeing festival horses at a nearby shrine, and visiting the old town of Kurashiki and several museums within. I am incredibly grateful for the uncommon and immersive experience.



岡山旅行のビデオができました。
ぜひご覧下さい！

<http://j.mp/KCJS-Okayama-2019-Fall>



CIP:子ども食堂

ソフィー・バーク
(マウントホリヨーク大学)



今学期も毎週木曜日に「東九条こども食堂」でボランティアを続けていました。こども食堂は誰にでも美味しい食事を提供します。ここはいつも本当に温かくて、笑顔で食事ができます。こんな貴重な経験ができて有難いです。コミュニティーの温かさは本当に素晴らしかったです。もし機会があったら、ぜひ自分で見に来てください！
For my CIP I've continued volunteering at the Higashi Kujo Children's Soup Kitchen at Kyoto Southern Church run by Pastor Baekki Heo. Anyone can come in and enjoy a home-cooked meal in great company. Getting to know the amazing people here has definitely been one of the highlights of my experience in Japan. I am infinitely grateful for the warmth I've been shown in this amazing community. I invite everyone to come by if you have the chance!



CIPとは
学生たちが、ボランティア等を通じて、日本の地域社会とつながりを持つプロジェクト。それぞれが興味を持っている活動を選んで参加する。

CIP:幼稚園でのボランティア

カリ・ルーター (ボストン大学)

私のCIPは幼稚園でのボランティアです。はじめは、たくさん日本語が分からないから、すごく緊張して心配しました。でも、幼稚園の先生や子供たちは私を受け入れてくれました。毎週、幼稚園に行くと子供と一緒に昼ご飯を食べたり、遊んだり、子供が帰る時子供のご両親と話したりします。時々、運動会の練習を手伝ったり授業の部屋をそうじしたりもします。

はじめはCIPについて心配しましたが、できてよかったです。日本の文化について色々なことを学びました。子供たちが自分の文化を学ぶのを見るのは面白かったです。CIPをして私の留学経験は特別なものになりました。

My CIP was at a kindergarten; at first, I was very nervous as to how communication would go

CIP:同志社フェンシング部

ソフィア・ポドヴィソツカ(ブラウン大学)

同志社大学のフェンシングチームが練習する所まで、バスで1時間ぐらいかかりますが、練習が楽しいので、私は気になりません。今学期、女子のエペチームのメンバーは私を入れて3人です。練習では、ウォーミングアップの後、スパーリングや個人練習をします。小さなチームですが、いい練習ができてフェンシングの技術が向上しました。その上、みんなと日本語だけで話すので、話すことに自信が持てるようになりました。

同志社大学のフェンシングチームでの経験は、本当に楽しくて有用です。素晴らしい機会を与えてくれた同志社大学のフェンシングチームに感謝しています。

Working with the Doshisha Fencing team has been an amazing experience, not only in terms of improving my fencing technique through individual lessons and sparring, but also in terms of increasing the confidence with which I speak Japanese. I'm very grateful to the team for allowing me to join this semester and presenting me with an incredible opportunity to practice alongside!



between myself, the staff and children. but everyone was really accepting and patient with me. Every week I would go to the kindergarten and have lunch with the children, play with them outside or do other various activities. Even though in the beginning I was very nervous, I'm so happy that I was able to observe children learning their own culture. Being able to volunteer at the kindergarten has really helped make my study abroad experience special.



Follow us on
Instagram
@KCJS



Instagram を始めました！ぜひフォローして下さい！

会話パートナー

カムリック・ソロリオ(シカゴ大学)



会話パートナーに出会えたのはKCJSの最も楽しいことの一つでした。10月上旬の会話パートナーとの顔合わせで三人の学生と友達になりました。それから週に一回以上会ってきて、とても仲良くなれました。日常的な話でも毎回楽しくて、だんだんお互いの見方や経験が分かるようになります。異なる文化についても勿論学びますが、何よりもまず人としてお互いを理解して受け入れることを大切にしています。時にはカフェでゆっくりお喋りして、時には神社や庭を観に行つて。そうすると様々なことについて話せるし、一緒に京都の魅力と日本の文化を味わうことができます。お互いに支えて親しくなれる出会いにとっても感謝しています。

Getting to be close friends with my language exchange partners has been one of the most fulfilling parts of my time at KCJS. We enjoy the time we spend together, be it at a nearby café or scenic site in Kyoto. Moreover, making friendships built on kindness, compassion and acceptance has been both a humbling experience and a rich opportunity for self-reflection and growth.

個人研究

エリス・カーパー(バージニア大学)



9月に、同志社のグローバル・スタディーズ研究科の菅野優香先生の授業を取り始めました。私は人類学と日本語の専攻をしているため、この授業は大変興味深く、このような機会を得て、誠に有り難く思っています。日本語と英語で講義が進められるため少し難しいですが、専門用語をたくさん学べるし、大学院生と会えるし、特別なイベントに行くチャンスもあるし、本当にいい経験だと思います。例えば、10月の終わりに、『日出処の女神』というイベントに菅野先生と一人の学生と行って、晩ご飯も一緒に食べました。このように日本の大学で関心分野のことを勉強する機会があつて本当に嬉しいですが、何よりも、授業を通して先生や学生と関わり、京都のコミュニティにもっと参加できることが貴重だと思います。

Around the middle of September, I was given the chance to join a graduate class taught by Professor Yuka Kanno at Doshisha University. This has been an amazing experience in so many ways because I have been able to see another side of Doshisha and Kyoto, going to events with Professor Kanno and her students and speaking about articles, many of which I plan to use in my thesis for graduate school, largely in Japanese alone. I really want to thank Professor Kanno for her kindness, allowing me to come to her small class of only about five students.

開晴中学校ボランティア

アントニ・ヴィジャ(ノースウエスタン大学)

開晴中学でのボランティアは、とても面白い経験だった。私達は学生が清水寺の近くで英語が話せる観光客をインタビューするのを手伝った。英語で話さなければいけなかったが、学生は私達の英語が分かっていた。インタビューしてから、観光客と写真を撮った。学生は恥ずかしがっていたが、英語が練習できたし、日本に興味がある外国人と話せたから、学生にとってはいい経験だったと思う。

Volunteering at Kaisei Middle School was a very interesting experience; we went around Kiyomizudera and helped the students interview tourists in English. Even though the students were shy, it helped them practice their English and let them learn about foreigners who are interested in Japan.

消しゴムハンコ作り

エンジェル・デイン
(コーネル大学)



私は観光客としてだけでなく、日本人のように日本で生活したいと思っています。この綺麗な日本の文化や言葉や習慣など色々なことを体験したいです。それだから、「京都にいる間、なんでもやってみよう」という気持ちを持って、様々なイベントに参加しました。消しゴムハンコ作りはKCJSのイベントの一つでした。KCJSの学生達だけでなく、同志社の学生とホストファミリーも参加しました。皆さんは自分の好きなデザインでハンコを彫って、それからハンコを使って、絵を描きました。KCJSはそんな楽しいイベントがたくさんあります。私も色々なイベントに参加して、たくさん面白い土産話ができました。

I have always wanted to be more than a tourist and more like a local. I want to learn the quotidian in this society that I have always appreciated and admired. I told myself to take as much advantages as I could while I am in Kyoto with KCJS. This included sign up for various events and participate in activities. One specific event was stamp carving. Many people participated including Japanese students and host families.



今井町ステイ

クリスティーナ・アモン
(スタンフォード大学)



10月19日から3日間、何人かのKCJSの学生が奈良の今井町の町並み保存会会長の若林さんのお宅に滞在させていただきました。その間、お客さんのための抹茶を点てること、秋祭りで山車を引くこと、若林さんから今井町の文化・町並み保存についての講義を受けることというような素晴らしい初めての経験を数々させていただきました。この遠足のおかげで私たちは様々な良い思い出を作ることができました。若林さんに大変感謝しています。



KCJS students relaxing after a day of moving the danjiri and helping at a local festival.

On the weekend of October 19, Wakabayashi-san, the cultural concierge of Imaicho, Nara, welcomed a group of KCJS students into his home. Our three-day-stay provided us an array of new experiences, such as preparing freshly-made matcha for customers, helping move the danjiri at a local festival, and learning about Wakabayashi-san's philosophy regarding Imaicho's historic preservation. We are extremely grateful to Wakabayashi-san for these invaluable and long-lasting memories.



KCJS31 秋学期 学生賞 中間投票結果

学生たちが選びました！！

日本語をよく使っている人

①ワイリ・クリシュナスワーミさん ②ソフィー・松本さん、カムリック・ソロリオさん

他にもソフィア・ポドヴィソツカさん、アントニ・ヴィジャさん、カーター・イーさんに票が入りました



KCJSの外でも頑張っている人

①エリス・クーパーさん ②ジョンパウロ・クルグパイヴァさん

③ベンジャミン・ホフィンクさん、ワイリ・クリシュナスワーミさん

他にもセオ・スタインリーブさん、エンジェル・デインさん、カムリック・ソロリオさんに票が入りました



先輩達の活躍

《進学・研究》

アレックス・ブリーデンさん (KCJS24 秋学期 バージニア大学) 京都の日本語学校に留学中

孫昭瑜さん (KCJS30 春学期 ウェズリアン大学) デューク大学ロースクール合格

《就職・仕事》

ヘレン・ロルフさん (KCJS26 秋学期 ウェズリアン大学) Youth Theater Japan に就職が決まり、来春日本に赴任

スティーブン・ペルコビッツさん (KCJS22 通年 シカゴ大学) 東京で税理士事務所に勤務

タイラー・カシンドルフ＝マンタリンさん (KCJS22 通年 ブラウン大学)

立命館大学衣笠国際教育センター国際部衣笠国際課に勤務

《JET など》

アンドリュー・フィッシャーさん (KCJS29 通年 ワシントン大学セントルイス)

JET プログラム ALT として愛媛県西宇和郡に赴任

《その他》

ケビン・ウルシーさん (KCJS30 通年 バージニア大学) 漢字検定準1級合格

